

横浜市感染症発生動向調査報告 5月

《今月のトピックス》

- 新型コロナウイルス感染症の報告が続いています。
- 定点把握対象疾患の多くが、例年より低めの報告数で推移しています。

◇ 全数把握の対象

〈5月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
A型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1件
レジオネラ症	3件	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
アメーバ赤痢	3件	水痘(入院例に限る)	1件
ウイルス性肝炎	2件	梅毒	6件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7件	百日咳	1件
急性脳炎	1件	—	—

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O血清群不明ベロ毒素VT1(無症状病原体保有者)の報告が1件ありました。
- 2 A型肝炎: 感染経路等不明(ワクチン接種歴無)の90歳代の報告が1件ありました。
- 3 レジオネラ症: 肺炎型の報告が3件ありました。
- 4 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が3件あり、いずれも感染経路等不明です。
- 5 ウイルス性肝炎: B型ウイルス性肝炎1件(ワクチン接種歴不明)、C型ウイルス性肝炎1件の報告がありました。
- 6 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 7件の報告がありました。そのうち3件で医療器具関連感染が推定されています。
- 7 急性脳炎: 病原体不明の30歳代の報告が1件ありました。
- 8 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 創傷感染が推定される50歳代の報告が1件ありました。
- 9 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): 同性間性的接触による感染が推定されるAIDSの報告が1件ありました。
- 10 侵襲性肺炎球菌感染症: 10歳未満の報告が1件(ワクチン接種歴4回あり)、80歳代の報告が1件(ワクチン接種歴不明)ありました。
- 11 水痘(入院例に限る): 40歳代の検査診断例(ワクチン接種歴無)が1件ありました。
- 12 梅毒: 無症状病原体保有者1件、早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件、晩期顕症梅毒1件の報告がありました。推定される感染経路は異性間性的接触5件、不明1件で、性別は男性3件、女性3件でした。
- 13 百日咳: 感染経路等不明の10歳未満の報告(ワクチン接種歴4回あり)が1件ありました。

◇ 指定感染症

新型コロナウイルス感染症の報告数は神奈川県にて集約されています。
神奈川県衛生研究所ホームページをご参照ください。

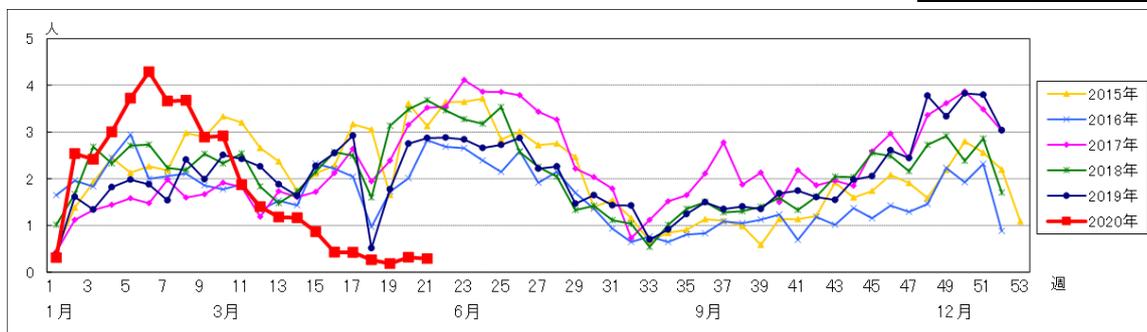
神奈川県衛生研究所感染症情報センター

http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003_center/03_center_main.htm

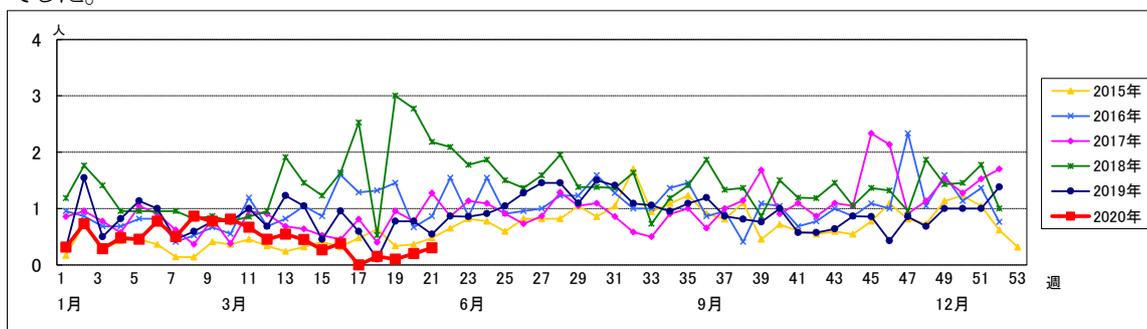
◇ 定点把握の対象:

報告週対応表	
第17週	4月20日～4月26日
第18週	4月27日～5月3日
第19週	5月4日～5月10日
第20週	5月11日～5月17日
第21週	5月18日～5月24日

1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 第6週の4.29をピークにその後減少し、例年より低めの報告数で推移、第21週は0.29となっています。



2 流行性角結膜炎: 例年この時期より増加傾向がみられますが、報告数は低めで推移し、第21週は0.30でした。



3 性感染症(4月)

性器クラミジア感染症	男性:24件	女性:15件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:5件	女性:9件
尖圭コンジローマ	男性:9件	女性:6件	淋菌感染症	男性:16件	女性:2件

4 基幹定点週報

	第17週	第18週	第19週	第20週	第21週
細菌性髄膜炎	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(4月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

4月20日から5月24日までに病原体定点から搬入された検体は、小児科定点26件、内科定点1件、基幹定点3件、眼科定点0件で、定点外医療機関からは1件でした。

ウイルス分離2株とライノウイルス遺伝子1件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果5月期(2020年第17週～2020年第21週)

分離・検出ウイルス	主な臨床症状
	上気道炎
アデノ1型	1
アデノ2型	1
ライノ	1
合計	2
	1

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

5月期(2020年第17週～2020年第21週)の「菌株同定」依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌1件、サルモネラ属菌1件、非定点からグラム陰性桿菌 ブドウ糖非発酵菌1件の検査依頼がありました。

保健所からは、腸管出血性大腸菌1件、劇症型溶血性レンサ球菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌3件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、保健所からレジオネラ2件の検査依頼がありました。小児科定点からは、A群溶血性レンサ球菌2件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における病原体調査 5月期 (2020年第17週～2020年第21週)

菌株同定		項目	検体数	血清型等
医療機関	基幹定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)
		サルモネラ属菌	1	<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (1)
	非定点	グラム陰性桿菌 ブドウ糖非発酵菌	1	<i>Reyranella</i> sp. (1)
保健所		腸管出血性大腸菌	1	OUT : H- VT1 (1)
		劇症型溶血性レンサ球菌	1	A 群溶血性レンサ球菌 TUT (1)
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	3	<i>Klebsiella aerogenes</i> (3)
分離同定	材料	項目	検体数	同定、血清型等
保健所	喀痰	レジオネラ	2	不検出 (2)
小児サーベイランス		項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点		A 群溶血性レンサ球菌	2	T12(1)、TB3264 (1)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】